

# 彩の歳時記

平成三十年 一月

門松や 思えば一夜 三十年

芭蕉【1644~1694】

「新しい年を迎え、来し方三十年を振り返ってみれば、まるで一夜の夢のようだ」

これは芭蕉が俳諧宗匠として立机(プロの俳諧師になること)した三十四才の時の句。来し方を振り返り何を思ったのか。平成が「三十年と四ヶ月余り」で幕を閉じる事になり、「三十年」という歳月に思いを馳せるお正月になるのではないのでしょうか。また還暦を過ぎると「正月や冥土の旅の一里塚 めでたくもあり めでたくもなし」という一休宗純【1394~1481】の歌も心に沁みます。昨今は佐藤愛子の書き下ろし「九十歳、何がめでたい」が話題になる長寿の時代、一年の初めに挑戦したい何かを見つけたいものです。



## 一月の暦

睦月 親族・知人が集まり、親睦をはかる月。

睦月

一日 元旦 国民の祝日 「元旦」の「旦」の下線は地平線で、日は昇る太陽を表す。最大の

年中行事で、門松で年神様を迎え、若水を汲んで供え、雑煮やおせちを食べて祝う。

新年祝賀の儀 宮殿・松の間で天皇皇后両陛下・皇族の方々が、三権の長、在日大使と

その配偶者から新年の祝賀を受けられる儀式。

二日 皇居一般参賀 宮殿東庭にて天皇皇后両陛下・皇族方が、国民から祝賀を受けられる。

第九十四回箱根駅伝(二日・三日) 大手町から箱根までの往路の区間、復路の区間の

217.9kmで争われる。昨年の1・2・3位は青山学院・東洋・早稲田大学。今年は何?



四日 官公庁御用始め 1873(明治)の年から、官公庁は12月29日から1月3日までの休みが法律で定められており、この日が仕事始め。土・日曜日の場合は直後の月曜日。

五日 小寒【二十四節気】「冬至より一陽起こる故に陰気に逆らふ故、益々冷える也」暦便覧。

『寒の入り』『節分』までが『寒の内』

七日 七草 七草粥は邪気払に七種の菜を汁にして食していた中国の「七日正月」に由来。

春の七草(芹・なずな・御形(ごぎょう)・はこべら・仏の座・すずな・すずしろ)が入った粥を食べ、一年の息災を願う。日本では平安時代に始まり江戸時代に定着。



七日 松納め 門松や正月注連飾りを取り払う。松払い・松送り (関西は一月十五日に行うところも)

八日 成人の日 各地で新成人を祝うイベントが行われる。ハッピーマンデー法の制定でこの日に

平成スタートの日 1989(昭和64)年一月七日の朝の昭和天皇の崩御を受け、臨時閣議で

「平成」に、翌日から用いられた。日本最初の元号「大化」以来247番目。

十一日 鏡開き 年神様や仏に供えた鏡餅を下げ、食す。切るは切腹を連想させるので



木槌などで割り「切る」「割る」の言葉を避け「開く」という。

十三日 歌会始 今年のお題は「語」。鎌倉中期に始まり江戸時代から毎年催行。明治七年から一般詠進

も。選ばれた歌が、天皇皇后両陛下の御前で詠まれ、国民参加の文化行事としてTV中継も。

十七日 阪神淡路大震災の日 1995年のこの日、死者約6300人、30万人以上が被災。「防災とボランティアの日」として制定された。神戸市中央区の東遊園地で「1.17のCM」が行われる。

二十日 大寒【二十四節気】「寒の内」の真ん中。大寒の朝に汲んだ水は

痛まないときれ、地域によってその水で味噌を仕込む習慣もある。

## 一月の歌

一月一日

詞 千家尊福 曲 小山作之助

明治二十六年(1893年) 文部省は小学校の祝祭日のための歌曲を選定した

「祝日大祭日唱歌」の中の一。 作詞の千家尊福【1845~1918】は出雲大社

第八十代出雲国造だったことから、出雲大社神楽殿東側に「一月一日」の歌碑

1964年から2010年の47年間フジTVで放送された「新春かくし芸大会」

のテーマソングで大人の大多数が一度は耳にした曲。

年の始めの例(ためし)とて終(おわり)なき世のめでたきを松竹(まつたけ)たてて門ごとに祝う今日こそ楽しけれ初日のひかり さしいでて四方(よも)に輝く今朝のそら君がみかげに比(たぐ)えつつ仰ぎ見るこそ尊(とぶ)とけれ